

電動巻上げハイブリッドスクリーン

[BXRシリーズ] 取扱説明書

この度は電動スクリーンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも読むことのできる場所に大切に保管してください。



設定しないと動作しません

設定方法は「6 リモコン設定」へ→

設置前の注意点

■ マウントブラケットの取付け方法について

マウントブラケットを取り付ける面(天井・壁)の下地はその設置場所において石膏ボード、木材、コンクリート等 いろいろなケースが考えられます。

- ・ 設置施工者は設置面下地をご確認の上ご自身の判断において、必ず適切なビス、あるいはアンカーなどを使用して確実に固定できるよう取り付けてください。
- ・ マウントブラケットに標準で同梱されているネジは、木下地の場合に使用できるものです。(木ねじ 3.5φ×25mm)
- ・ 製品設置に関して自信のない方は、大工さん・電気屋さん・内装業者など専門業者に依頼することをおすすめします。

■ 下地についての注意点

石膏ボードを材料とする面へのスクリーン設置は、落下の原因となるため取り付けできません。石膏ボードアンカーも落下の危険があるので使わないで下さい。

取り付ける場合には、石膏ボード裏の強度ある下地部分にネジを留めるようにして下さい。下地として、厚み 12mm 以上のベニヤ板を仕込んでおくこと取り付けできます。



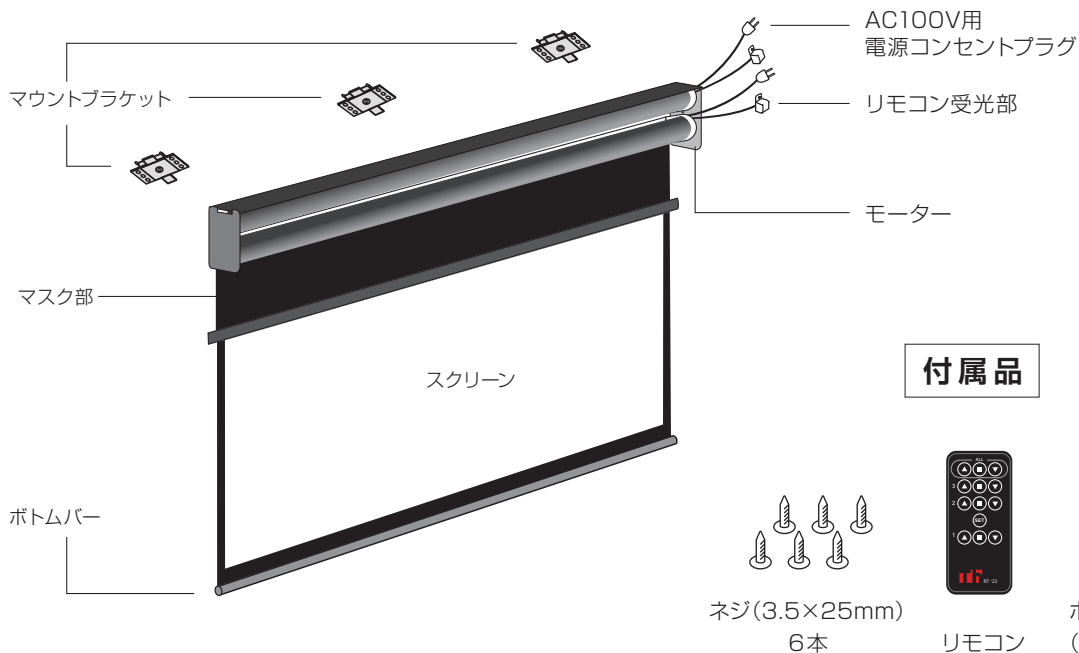
株式会社シアターハウス

〒910-0122 福井市石盛町613
TEL 0776-56-0325 / FAX 0776-56-2647
e-mail shop@theaterhouse.co.jp

1 製品各部の名称

本体

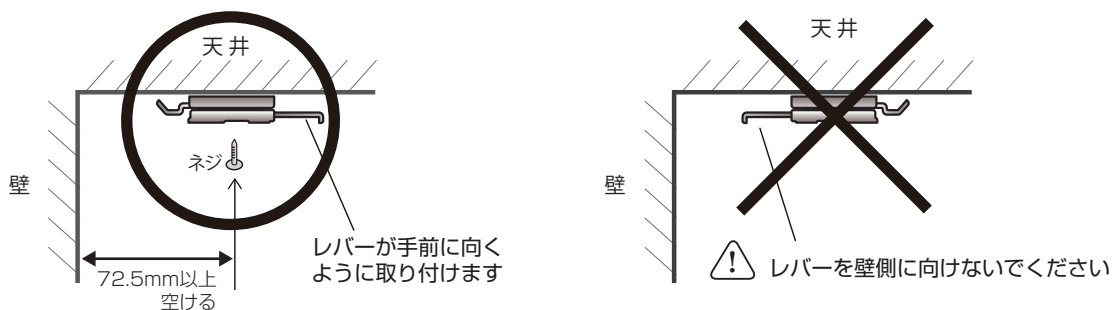
マウントブラケットは製品に付いています。
取り外してお使い下さい。



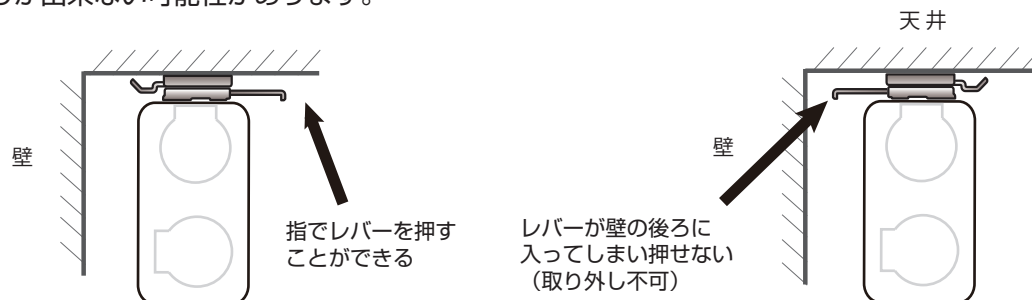
2 スクリーン設置方法 (マウントブラケットの注意点)

マウントブラケット取付時の注意点

マウントブラケットを取り付ける際には、必ずマウントブラケットのレバー(長く出ている突起物)が手前に向くように取り付けて下さい。



逆に取付けると、壁側にあるマウントブラケットのレバーを押す事ができず、スクリーンの取り外しが出来ない可能性があります。



2 スクリーン設置方法 (天井付けの場合)

天井付けの場合

① マウントブラケットの取付位置を決める

製品に付いているマウントブラケットが「ブラケット取付位置」と書かれた黄色いシートの上に位置しているか確認し、両端のマウントブラケットの間の距離を測ります。
設置場所の下地を確認し、計測した距離を鉛筆などで印を付けます。

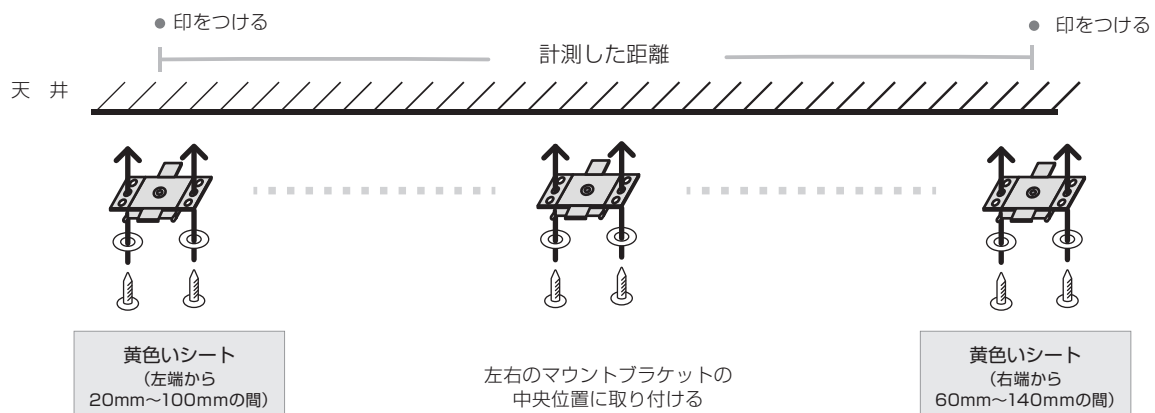
設置場所の 下地について

石膏ボードを材料とする面へのスクリーン設置は、落下の原因となるため取り付けできません。
(石膏ボードアンカーも落下の危険があるので使わないで下さい。)
取り付ける場合には、石膏ボード裏の強度ある下地部分にネジを留めるようにして下さい。
下地として、厚み12mm以上のベニヤ板を仕込んでおくこと取り付けできます。

② 天井にマウントブラケットを3個取り付ける

製品に付いているマウントブラケットを取り外し、①で印を付けた左右の位置に2個のマウントブラケットを取り付け、中央に残り1個のマウントブラケットを取り付けます。
マウントブラケット左右の中央のネジ穴に、ネジ2本(M3.5×25mm)で固定してください。

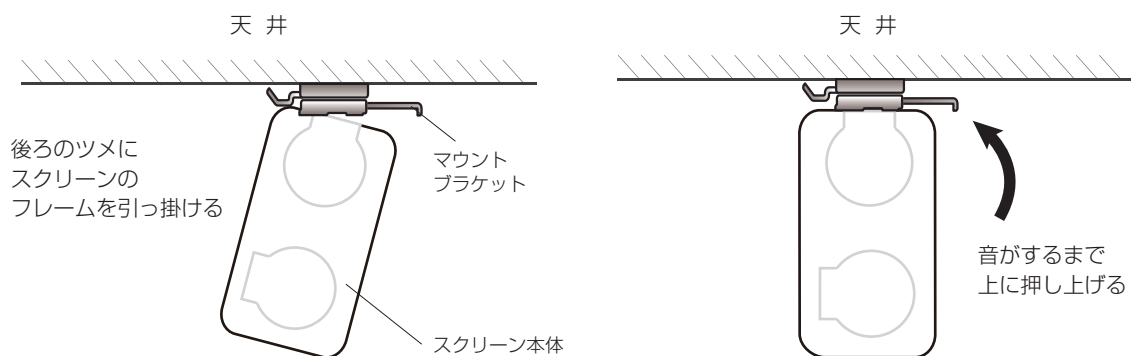
※付属のネジはブラケット1個に対し2本ずつになりますが、ネジ穴は下地の状況に応じて変更してください。



③ スクリーン本体を取り付ける

スクリーンを斜めにしてマウントブラケットの片端にスクリーンの後ろ側を引っ掛け、上に押し上げてはめ込みます。カチッと音がするのを確認してください。

※カチッと音がしない場合、しっかりロックがかかっていない可能性があり落下の原因となります。



2 スクリーン設置方法 (壁付けの場合)

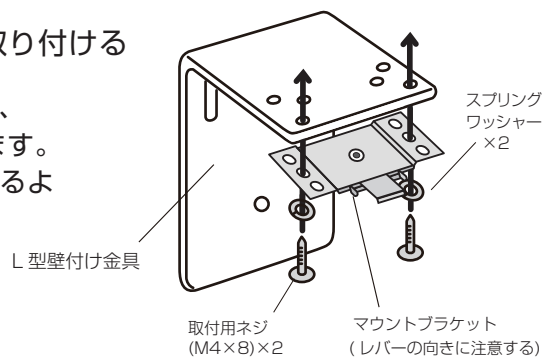
壁付けの場合 壁付けの場合、別途「L型壁付け金具2」(別売)が必要です。

① L型壁付け金具2 の取付位置を決める

製品に付いているマウントブラケットが「ブラケット取付位置」と書かれた黄色いシートの上に位置しているか確認し、両端のマウントブラケットの間の距離を測ります。
設置場所の下地を確認し、計測した距離を鉛筆などで印を付けます。

② L型壁付け金具2 にマウントブラケットを取り付ける

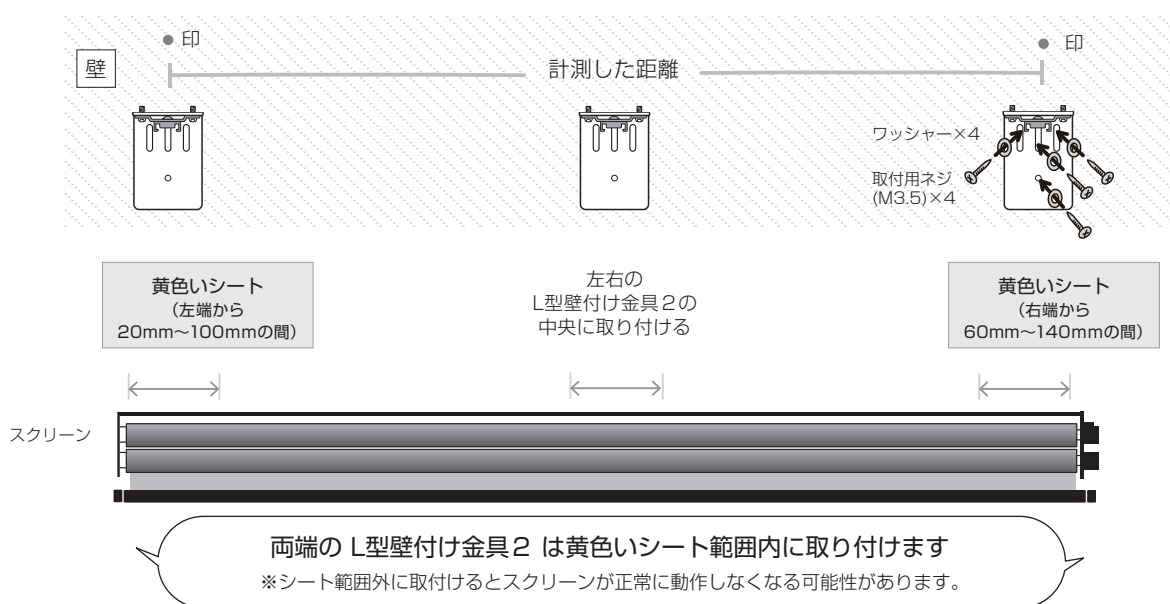
製品に付いているマウントブラケットを取り外し、L型壁付け金具2にネジ(M4×8)2本で固定します。この時、マウントブラケットのレバーが手前になるよう注意してください。



③ L型壁付け金具2 を壁に取り付ける

①で印を付けた左右の位置に2つの「L型壁付け金具2」を取り付け、中央に残りの「L型壁付け金具2」を取り付けます。

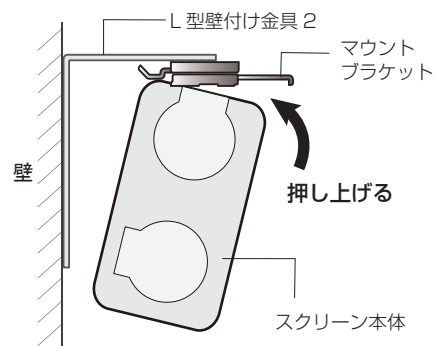
※L型壁付け金具1つに対し、取付ネジ・ワッシャーは4本ずつ使用します。(L型壁付け金具に付属)



④ スクリーン本体を取り付ける

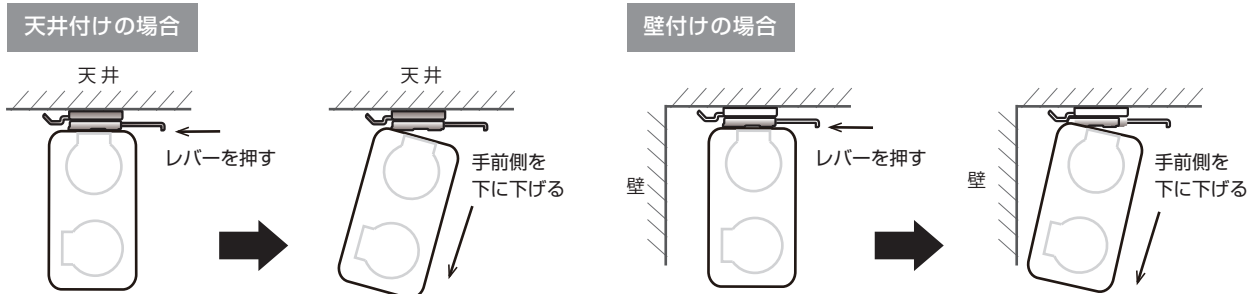
スクリーンを斜めにしてマウントブラケットの片端にスクリーンの後ろ側を引っ掛け、上に押し上げてはめ込みます。カチッと音がするのを確認してください。

※カチッと音がしない場合、しっかりロックがかかっていない可能性があります。落下の原因となります。



3 スクリーンの取り外し

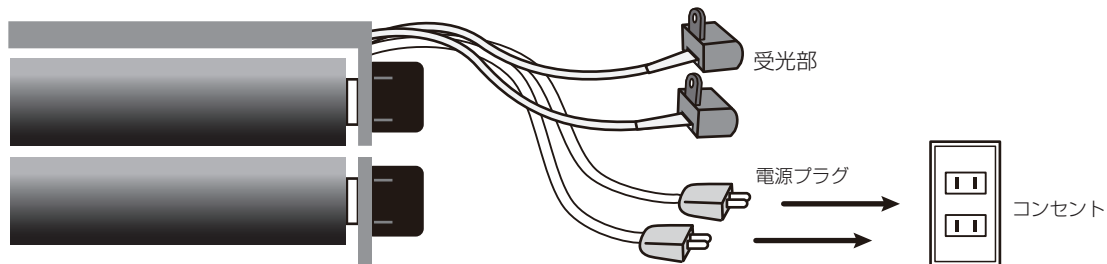
スクリーンを取り外すときは、マウントブラケットのレバーを奥に押し込み、スクリーンの手前側を下に下げて取り外します。



4 電源コード・リモコン受光部の取り付け

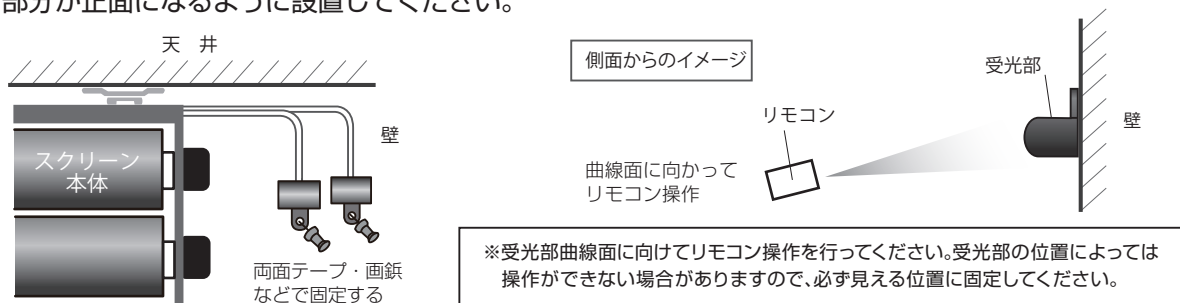
① 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグはスクリーンに向かって右側から2本出ています。2本ともコンセントに差し込みます。

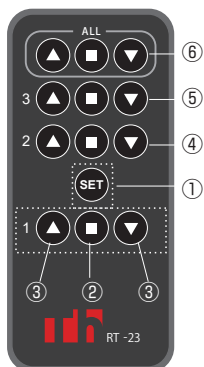


② リモコン受光部を固定する

スクリーンから出ている2つの受光部を、壁もしくは天井に固定します。固定する際に、受光部の曲線部分が正面になるように設置してください。



5 リモコンの各部名称



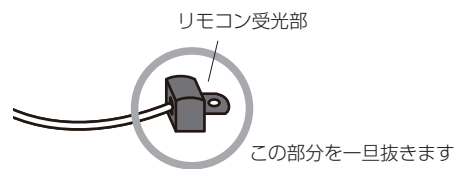
リモコン各部名称

- ① SETボタン 下限位置を決める時に使用します。
- ② STOPボタン (1-■) スクリーン動作中に押すと停止します。
- ③ スクリーン動作ボタン(1-▲▼) ... 左ボタンで上昇、右ボタンで下降、中央ボタンで停止します。
- ④ 黒生地用動作ボタン(2-▲■▼) ... 左ボタンで上昇、右ボタンで下降、中央ボタンで停止します。
- ⑤ 暗幕用動作ボタン(3-▲■▼) ... 暗幕を追加購入した場合に左ボタンで上昇、右ボタンで下降中央ボタンで停止します。
- ⑥ 全動作ボタン(ALL-▲■▼) 左ボタンで上昇、右ボタンで下降、中央ボタンで停止します。

6 リモコン設定

リモコン設定の流れ

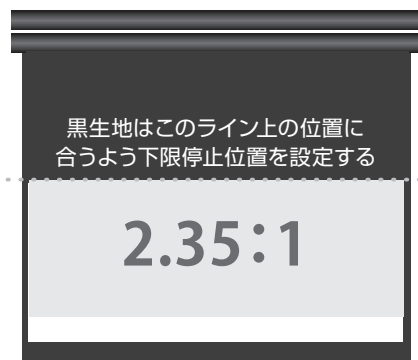
- ① 先にスクリーンの下限停止位置の設定をするため、黒生地のリモコン受光部を抜いておきます。
- ② 次頁の手順にそってスクリーンの「下限停止位置設定」を行います。
ワイド(16:9)画面の映像を映した時に、スクリーンが一番下の位置になるよう設定してください。(図1参照)
- ③ スクリーンの下限停止位置設定が完了したら、①で外した黒生地のリモコン受光部を元通りに接続してください。
- ④ 次に黒生地の下限停止位置設定を行うため、スクリーンのリモコン受光部を抜いておきます。
- ⑤ ②と同様に黒生地の「下限停止位置設定」(次頁)を行います。シネスコ(2.35:1)の映像を映した時の一番上の位置になるよう、黒生地の下限位置を設定してください。(図2参照)
- ⑥ 黒生地の下限停止位置設定が完了したら、④で外したスクリーンのリモコン受光部を元通りに接続します。
これでスクリーン・黒生地の下限停止位置設定完了です。



〈図1〉



〈図2〉

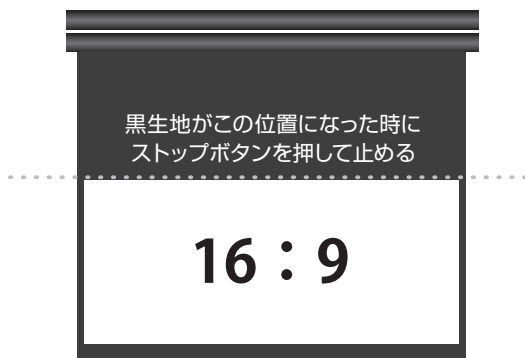


ワイド比率(16:9)の作り方

スクリーンを降ろすと自動的にワイド比率(16:9)の一番下の位置で停止します。

次に黒生地を下げますが、そのままでは下がりすぎてしまうためワイド比率(16:9)の一番上でストップボタンを押して止めてください。

※ 映像を映した状態で設定を行うと位置調整が簡単です。

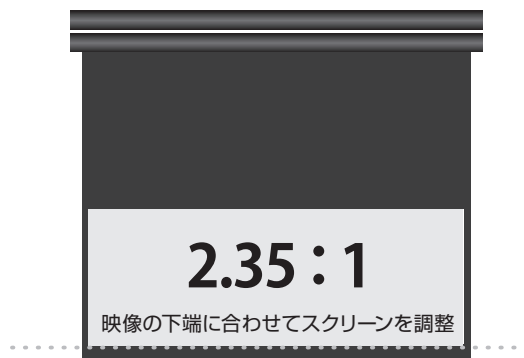


シネスコ比率(2.35:1)の作り方

スクリーン・黒生地の両方を降ろします。黒生地はシネスコ(2.35:1)比率の上部で停止しますが、スクリーンは降りすぎてしまいます。

スクリーンを少し上げて映像の下端に合わせてストップボタンを押してください。

字幕がある時は、字幕が隠れないよう字幕のすぐ下で止めてもブラックマスクの効果を十分に得ることができます。



6 リモコン設定(下限停止位置の設定)

下限停止位置の設定方法

製品内部のメモリー機能によりダウンボタン(1-■)を1回押すだけで希望位置に自動的に停止させることができます。



製品出荷時はスクリーンが20cm降りて停止するように設定されております。ご使用前に必ず下記の「下限停止位置の設定」を行ってください。前頁通り、黒生地の下限停止設定も必ず行ってください。

《設定方法》

- ① 製品取付後、スクリーンが巻き上がっているか確認してください。
(緩んでいる場合はこれ以上巻き上げられないという所まで手でゆっくり巻き上げてください。)
- ② DOWNボタン(1-▼)を押しスクリーンを降ろし、すぐSTOPボタン(1-■)を押して停止させます。
- ③ 次にUPボタン(1-▲)で巻上げます。スクリーンがすべて巻き上がった所で自動的に停止します。
(すべて巻き上がってもモーター音がする場合はその音が停止するまで放置して下さい。)
- ④ リモコンを受光部に向け、SETボタンを2秒以内に3回押して下さい。
リモコン受光部のLEDが赤く点滅し、下限停止位置の「セットモード」に入ります。
- ⑤ 次にDOWNボタン(1-▼)を1回押して下さい。スクリーンが下がり始めます。
- ⑥ 希望停止位置まで降りたらSTOPボタン(1-■)を押して停止させて下さい。
高さを調整する時は再度UP・DOWNボタン(1-▲▼)を押して調整ください。



注意

下限停止位置設定(LED点滅)時、最後には巻取りパイプがむき出しになります。
スクリーンがこの位置まで下がったら、必ずリモコンを停止させてください。
(モーターが空回りし設定位置が狂います。)

- ⑦ スクリーンを希望位置で止めたところで再度SETボタンを2秒以内に3回押してください。
リモコン受光部のLEDが消灯し、下限位置設定が完了します。
 - ・下限設定位置を変更したい場合はいったんスクリーンを一番上まで巻上げ、モーターが完全に停止してから③～⑦を繰り返して下さい。
 - ・下限停止位置を決めるとそれ以上スクリーンを降ろす事はできません。
更に降ろしたい時は、再度「下限停止位置設定」を行ってください。

7 製品修理と張替えサービス

修理のご依頼について

修理お問い合わせの前に症状の対処方法をご確認ください。

※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「修理のご相談について」をご覧ください。

問い合わせ (メール・電話) ➡ 商品取り外し・発送 ➡ お見積り ➡ 修理代金決済 ➡ 修理 ➡ 商品返送

※商品の取り外し・再取り付けにかかる費用・商品返送の運送便手配については、お客様側での対応となります。

スクリーン生地の張替サービス

ご購入後10年以内であれば、スクリーン張替え(幕面交換)サービスが受けられます。(有償サービス)

※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「スクリーン生地の張替サービス」をご覧ください。

安全上のご注意

安全上に関する重要な内容ですのでよくお読みの上、必ずお守りください。誤った使用をした場合、事故により使用者が重傷を負う危険性があるものを「警告」、傷害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを「注意」として明記しています。



気をつける必要があることを表しています。



してはいけないことを表しています。

警告



禁止

- ・この製品は非防水です。浴室や屋外等の湿気、水気の多い場所での使用はできません。感電や絶縁不良の原因になります。
- ・分解・改造は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。



注意

- ・取り付けは製品重量に耐える場所に本取扱説明書に従って確実に行ってください。落下時によるけが・故障の原因になります。

注意



禁止

- ・コンセントの取付工事が必要な場合は必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ・コンセントを使用せず圧着端子による接続はしないでください。万が一の非常時に取り外しができません。
- ・この製品はモーターの力で昇降します。急激な手動での作動はしないでください。モーター・ギヤの故障の原因となります。



注意

- ・この製品は屋内専用です。室温0~40度の範囲内で使用してください。サウナ、湯沸かし器近く、ボイラー室等では仕様しないでください。
- ・器具やスクリーンをシンナー等の揮発剤の物で拭いたりしないでください。変型や割れ、変色の原因となります。
- ・ボトムバーやスクリーンにもものを吊るしたり貼らないでください。重荷が大きくなり、上昇・停止ができなくなります。
- ・スクリーンの昇降する範囲に障害となるものや破損するような物は置かないでください。

製品仕様・保証

| | |
|---------|--------------------------------|
| 仕様電圧 | AC100V 50Hz / 60Hz |
| モーター回転数 | 50Hz 12R.P.M / 60Hz 15R.P.M |
| 消費電力 | (モーター回転時) 最大 4.8W / (待機時) 0.3W |

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、ご購入から10年間の間、無償保証とさせていただきます。

保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (2) 当社の取扱書カタログ等に記載されている使用条件環境の範囲を超えた使用による故障及び損傷
- (3) 当社指定以外の他社商品との特殊な組合せ及び使用による故障及び不具合
- (4) 施工上の不備に起因する故障及び不具合
- (5) お買い上げ後取付け場所の移設輸送落下などによる故障及び損傷
- (6) 火災地震水害落雷異常電圧指定外の使用電源(電圧周波数)公害塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障及び損傷
- (7) 車両船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- (8) 法令で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (9) 日本国内以外でのご使用による故障及び損傷
- (10) 経時変化によるスクリーン生地の日焼け、汚れ、ホコリなど